

1. ロコモコーディネーター制度および養成事業について

「ロコモコーディネーター制度（受講資格・研修会・資格取得・資格更新・主な活動内容）」および「有資格者の構成（有資格者合計・職種構成・勤務先）」について、SLOCのHPと同様の資料を提示し説明した。

2. ロコモコーディネーターの活動報告について

「ロコモコーディネーター資格取得者追跡調査（2016年JCOA）」および「ロコモ予防事業におけるロコモ普及員の活動調査（2017年JCOA）」について概略を報告した（ロコモコーディネーターとロコモ普及員に対し記名式で行ったアンケート調査結果）。

活動実績のあるロコモコーディネーターの約半数は順調に活動ができており、活動にやりがいを感じていたが、時間的な負担や労力的な負担を感じながら、活動しているものも3割ほどいた。

また、運営がうまくできているところでは、仲間の協力があり、独自のプログラムや評価表を作成しており、参加者のわずかな変化に気づき、参加者から感謝されていた。

ロコモ普及員については、約8割が順調に活動しており、約半数が充実していて楽しいと感じていた。困っていることは、参加率の伸びの悪さやスタッフ数の不足、毎回楽しんでもらえるプログラムを立案することが難しい、転倒やケガへの配慮が大変、ということであった。

また、ロコモコーディネーターとの関係性は約9割が問題ないと述べており、良好であった。ロコモ普及員が苦勞している点が示されたことから、ロコモコーディネーターに期待されるサポートが示唆された。

【ロコモティブシンドロームに対してアプローチすることが意味すること】
ロコモティブシンドロームの予防や改善を促すことは、対象となる方にとって「自分が思うように身体を動かせる」という自己効力感につながる、大切なアプローチです。
ロコモコーディネーターが持つ知識と技術が地域に活かされることを大いに期待します。